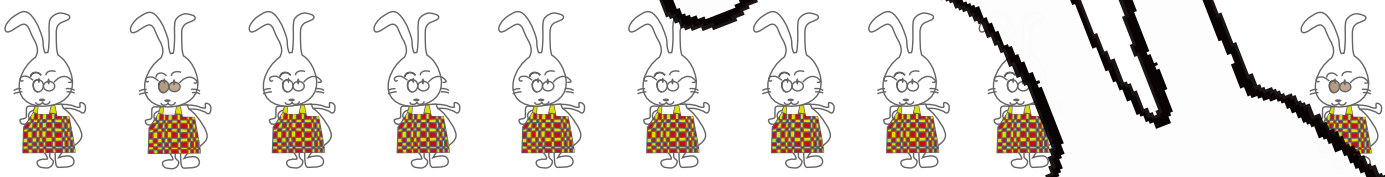
のたろんフェア2020

サポセン20周年

2020年2月
8日土曜日
9日日曜日

のたろんフェアも20回目です。



開催場所は、横須賀市立市民活動サポートセンター
（京急線汐入駅から徒歩１分）

詳細➡

年に１回２日間のイベント「のたろんフェア」
のたろんフェアは市民活動団体が主役のイベントです。

今回は、よこすか近郊で活動する市民活動団体 104 団体が参加！

会場では色々な形で活動を紹介します。
活動発表に体験コーナー、フリーマーケットもあります。

捨て猫の問題、核の問題、健康のことや介護のこと、
社会のことから生活の身近なことまで、みんなといっしょに時間を過ごして、
さまざまな市民活動を体感してください。

のたろん 新春☆号

すかっこの 市民活動情報

初参加の団体ピックアップ

のたろんフェア 2020
この団体に注目
ステージに ロックオン！

2月8日（土）と9日（日）の2日間おこなわれる『のたろんフェア』に参加する104団体。
その中でも、ステージで発表をおこなう今回がフェア初参加の3つの団体をご紹介します。

カントリーイースト

カウボーイハット、ウエスタンブーツにジーンズ姿！力強いステップとしなやかな動き、軽快な音楽。気軽に踊れるリズミカルでカッコいい「カントリーダンス」自然と身体が動き出す。
みんないっしょにレッツステップ！

2/8（土）
リドレ横須賀

男声合唱団せみ

いちど聴いたら忘れられない男声合唱団、
その名も「せみ！」
腹の底から美声をひびかせろ！
懐かしいあの歌この歌
男声合唱のハーモニーを味わい
練習後の懇親会も楽しいです。メンバー募集中！

2/8（土）
サポセン館内
ステージ

2/8（土）
サポセン館内
ステージ

親切ダンスカンパニー

人に優しく、地球に優しく、みんなで優しく踊りましょう！

みんながやりたい表現活動に自由にとりくめる地域密着型あーちすと集団。
神奈川県立保健福祉大学で生まれたダンスサークル。障がい、性別、年齢、国籍、そのた諸々、場所も問わず、踊ります。ダンスだけでなく、音楽、演劇、映画、食レポ、など自由な表現活動を、“親切な”仲間たちと、いっしょに楽しみながら活動しています。

ひと ～市民活動を支える人たち～

福祉コミュニティ湘南たかとり福祉村　**伊東 モト子**さん
堀家 彰生さん

湘南たかとり福祉村、「夫の理解があってこその活動」とおっしゃる伊東さんと、ご夫妻で活動している堀家さんにお話を伺った。

伊東さんは佐賀県生まれ。同郷のご主人と結婚。転勤の関係で神戸、川崎と移り住む。社宅にいる時、家を探して湘南鷹取に来て、この地に移り住むことを決めた。「海がみえて、山もあって、神戸にいたときと同じような感じ。佐賀は長崎に近く、長崎も海と山があった」。今では、湘南鷹取を終の棲家にしたいと思っている。

生協に入っていた伊東さん、神奈川ネットワーク運動のネットを立ち上げにも加わった。友達のお母さんが若年性認知症になって、役所に相談に行くと自分で介護できないのか？と言われ、泣きながら帰ってきたことがあったと聞いた。まだまだ認知症が社会的に理解されていない時代だった。そんなこともあり、ネットの地域部会で福祉部会に入り活動した。そして、福祉部会から「地域で必要なことを」の趣旨で、ワーカーズコレクティブ・サポート横須賀の設立に加わった。

2003 年、横須賀市がヘルプメイト事業を開始。サポート横須賀も、事業に参加してヘルプメイトのサービスを始めた。介護保険と並立して介護保険の対象外高齢者へ市がサービスを提供する仕組み。市からの補助と利用者からの１時間２００円の料金で、必要とされるいろいろなサービスを行えた。湘南鷹取でもヘルプメイトは必要とされていて、「地元の人が来てくれると安心」との声も多かった。堀家さんとともに、活動していった。

数年すると、ヘルプメイト事業が徐々に縮小され、いろいろな制限が出てきたことで、対象とならなくなってしまった利用者が出てきた。その受け皿を目指して、湘南たかとり福祉村の構想が生まれた。

湘南鷹取で活動するには、自治会の了解を得た方が良いというアドバイスを得て、各自治会と８自治会連絡協議会にお願いをして、協力体制が作られた。

湘南鷹取は、同じような世代、職業の人が多く集まった新しい街だった。伊東さんと堀家さんのつながりも、子ども同志が同級生でボーイスカウト活動も一緒。また、相談しにいった自治会の役員さんたちも、昔のＰＴＡ会長さんだったり、顔を知った人が多く話しやすかった。自治会館を使わせてくれることになり、また、回覧による広報もできた。そして、運営ノウハウは、サポート横須賀から学んだことだった。「すべての条件がよかった。申し訳なく思うくらいに」と言う。2006 年に説明会を経て 68 名で設立。今までの登録利用者は 585 名に達する。

「私にも田舎に母親がいるのですが、思うような介護はできませんが、こちらで自分が何かやっていたらそれが広がって、どこにいても同じようなサービスを受けられるようになるかもしれない。そういう思いで、自分のできる範囲でできることをやっていこうと思っています。」と話してくれた。

地域に根ざした地道な活動は、心の中では海を越えどこまでもつづくような、あたたかな気持ちで結ばれているように思ったインタビューでした。

（はこざき）

団体紹介

団体名　**福祉コミュニティ湘南たかとり福祉村**

活動内容　湘南鷹取に住む人たちによる、湘南鷹取に住む人たちのための助け合いの組織。住み慣れた地域で安心して暮らしたいと願う高齢者、障がいのある人、子育て中のお母さん、病弱の人、家事に困っている方たちのために「できることをできる時に」をモットーに支え合う有償ボランティア活動をしています。

おしえて ぬまちゃん

市民活動はちいさい疑問から！ のたろんが市民活動のことをサポセンスタッフぬまちゃんにききます。

ぬ、ぬ、ぬまちゃ～ん！　大変だよ！！
自動販売機でコーヒーを買ったら、お金が返ってきたの！あの自動販売機壊れちゃったみたい！

あら、のたろんおめでとう。そんなに慌てなくて大丈夫よ。あの自動販売機は当たりつきで、当たるとお金がキャッシュバックされるの。数字が揃って当たったんじゃないかしら。

ええ！？　当たるともう一本とかは知っているけど、お金が返ってくる自動販売機なんてあるんだ！？　ビックリです。

缶やペットボトルと違って、カップのドリンクは一度に二杯もらっても困っちゃうから、もう一杯じゃなくてキャッシュバックにしたのかしらねぇ。

取り出すのに両手を使うから、同時に二杯も持てないからかもー。

あ、のたろん、自動販売機の横にカップのドリンクを運ぶ専用のトレーがあるのは知っている？　側面に磁石でくっついているのよ。

見たことある！　あのフリスビー本当はそうやって使うんだ！！

フ、フリスビーって、投げて遊んだら駄目よ…。
あとあの自動販売機でドリンクを買うと、売り上げの一部が「よこすか元気ファンド」に寄付されるのよ。

何それ～？　それは何か良いことなのかなぁ？

うーんと「よこすか元気ファンド」っていうのはNPO法人の支援のために市民や企業からの寄付金を横須賀市が積み立てて、補助金を交付して活動を支援する仕組みっていう感じかな。のたろんが飲んだ飲み物代の一部がそこの寄付金の中にチャリンって入るの。

すごいね！　あの自動販売機で何か買って飲むと、サポセンでいつも見かけるあんな人やこんな人の団体に補助金になって届いていることになるんだ！？

そうそう、そんな感じね。

わかりました！　では、お話をしているうちに冷めてしまったこのコーヒーはぬまちゃんに差し上げます。のたろんはさっき返ってきたお金で温かいコーヒーを買ってもう一度寄付することにします！ぬまちゃんこれどうぞー。

あ、ありがと。つめたい…。

甘党錦鯉 第4話 「日本庭園」をつくる！

ふっ…ふっふっふ…

読者の皆様、大変お待たせいたしました。ついにこの時がやってまいりました。伝わりますでしょうか、この興奮。もう、のっけからニヤニヤが止まりません！

そう！筆者はついに挑戦いたします。え？何にって？庭づくりです。このコラムを掲載することになって、はや1年。毎回「庭に池を掘る！」「あくなき挑戦は続く…」とかいって、編集者からも「いつ池掘るの～」と言われておりましたが…今回は筆者も頑張りますよ～

今回挑戦するのは「日本庭園」。皆様「日本庭園」と聞いてどのようなお庭を想像されますでしょうか？白い砂…様々な大きさや色、形の庭石…静かな水面をたたえる池…そしてなにより錦鯉！

ということで、早速取り掛かりましょう。最初に決めるのは何と言っても池の場所ですかね。どこがいいかな…やっぱり庭の手前あたりがいいかなぁ…近くで錦鯉を見たいですしね…。おっと、池の周りや庭のあちこちに置く庭石もどれを使うかちゃんと考えておかなくては…色や形、大きさも様々で、この配置は筆者のセンスを問われるところですね…。池をつくって庭石の配置が決まったら、庭一面に白い砂を敷き詰めて一度平らにならします。そのあとで砂に模様（「砂紋」と言います。）を書いて完成！所要時間は約1時間。

え？なんでこんなに短い時間で作れるかって？

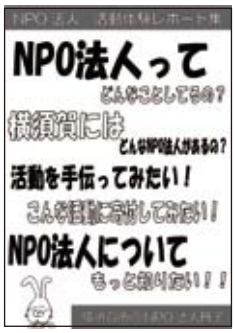
だってこの「日本庭園」、材料はすべて「お菓子」なんです。ラムネの白砂にチョコレートの庭石、ゼリーで作った池の水…なんたって「甘党」ですから（笑）。

（小串滋彦）

********** サポセンtopics トピックス

発行 2019年度版 NPO法人 活動体験レポート集

横須賀市内のNPO法人を紹介した冊子、「NPO 法人活動体験レポート集」を発行しました。サポセンスタッフが団体の活動に参加しながら取材レポート！この冊子を手に取って、「こんな活動があるのか」とか、この団体に「寄付したいな」「手伝いたいな」と思ってくれるとうれしいです。



のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

◆サポセン発信情報
◆E メール info@yokosuka-supportcenter.jp
◆サポートセンターのホームページ
「のたろん Web」は“のたろん”で検索♪

のたろんジャーナル

のたろん　検索

情報誌「のたろん」新春号（通巻 81 号）　2020 年 1 月 1 日
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート
横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩 1 分）
TEL ０４６－８２８－３１３０
FAX ０４６－８２８－３１３２
市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

編集ボランティア／はこざき・みずたに・おぐし
スタッフ／ぬまさき・のぎむら